

2021年度 地域包括支援センター社会福祉士 実務研修

意思決定支援（WEB）研修会 開催要項

1. 研修の狙い

私達1人ひとりが自分で意思を形成して表明出来、その意思が尊重されて日常生活や社会生活を決めていく事が重要ですが、認知症の方は認知機能障害により意思決定が難しい場合があります。

2018年6月、認知症の人を支える周囲の人において行われる意思決定支援の基本的な考え方や姿勢、方法、配慮すべき事柄等を整理し、認知症の人が自らの意思に基づいた日常生活・社会生活を送る事が出来る事を目指す為に「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」が策定されました。多くのガイドラインは意思決定が出来ない方を前提としていますが、本ガイドラインは認知機能の低下が疑われて意思決定能力が不十分な方を対象とし、意思決定をプロセスとして支援します。

本会では、支援者がガイドラインを知り、意思決定支援の基本を知って臨床の現場にマネジメント体制を創り、他職種チームで支援を実施出来る、また記録を残してプロセスを振り返る事が出来る様になる事を目的に本研修を開催致します。

2. 開催期日・方法

- 2021年6月12日（土）12時50分～16時30分（入室は12時30分～）
- Zoomによる遠隔聴講

3. 主催 公益社団法人 大分県社会福祉士会 （地域包括支援委員会）

4. 定員・対象

- 50名程度 ※定員を超えた場合、本会会員を優先させていただきます。
- 包括職員（認知症初期集中支援チーム、生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員を含む）、行政職員、社会福祉協議会職員、障害者相談支援専門員、生活困窮者自立支援相談員（コミュニティソーシャルワーカーを含む）、介護保険等事業所職員等々の「地域包括ケア」に携わる皆様

5. 受講費（資料代含む）

※会員とは、社会福祉士会会員の事です。

- 会員・一般； 1,000円
- 非会員； 2,000円

6. プログラム

時間	内容・講師
12:30~	受け付け
12:50	オリエンテーション、開会挨拶（地域包括支援委員会 担当理事）
13:00 ~14:00	講義：認知症の解説、倫理的課題とその扱い方、ガイドラインの解説 講師：兵頭 和浩（地域包括支援委員会 委員長）
14:00~14:10	< 休憩 >
14:10 ~15:10	グループワーク：日常生活における意思決定支援に関する事例 講師：谷口 仁美（地域包括支援委員会 委員）
15:10~15:20	< 休憩 >
15:20 ~16:30	グループワーク：社会生活における意思決定支援に関する事例 講師：梶原 貴久（地域包括支援委員会 担当理事） 閉会挨拶、アンケート記入

※プログラムは予定です。時間・内容は変更する事があります。

7. 申し込み方法（締切日：~~5月26日~~）※5月31日まで締切延長します。

○ 大分県社会福祉士会ホームページの電子申請システムにてお申し込み下さい。

→ <http://oita-csw.or.jp/apply/>

※入力した氏名や生年月日が受講証に転記されますので、ご注意ください！

○ 申し込み受付期間：4月30日（金）～ ~~5月26日（水）~~ **5月31日（月）まで**

※6月10日（木）までにZoom参加のURLとパスワードをメールにて送付致します。
メールが届かない場合は下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

8. 研修種別・単位数

○ 全てのプログラムを当会規定の遅刻や早退無く受講された方には、受講証を発行します。全てのプログラムを修了する事で、「生涯研修制度独自の研修3時間」となります。

<お問い合わせ・お申し込み先>

公社) 大分県社会福祉士会 事務局

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番地41号 大分県総合社会福祉会館2階

電話・FAX: 097-576-7071 E-mail: oita-jacsw@axel.ocn.ne.jp

【注】研修当日は、会場に直接電話をして下さい！